

## [第5章] 学生の受け入れ

### 5.1. 現状説明

#### 5.1.1. 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

評価の視点 1: ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）及び教育課程の編成・実施方針を踏まえたアドミッション・ポリシー（学生の受け入れ方針）を適切に設定し、公表を行っているか。

評価の視点 2: アドミッション・ポリシー（学生の受け入れ方針）において、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像、入学希望者に求める水準等の判定方法の公表を行っているか。

アドミッション・ポリシーは大学全体（学士課程）レベル及び学位プログラム（学科）レベル、大学院全体レベル及び研究科レベルにおいて、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえて策定している。策定にあたっては、各学部・研究科で原案を作成した後、学部長会議及び大学院運営委員会で適切性を審議した上で策定している。なお、アドミッション・ポリシーは東海大学オフィシャルサイトを通じて入学希望者などに周知公表している（資料 A-6、7）。総合型選抜・推薦型選抜で課している口述試験内容については、入学試験要項に先行して「東海大学 入試情報」で早期に公表しており、受験生が準備・学習できる時間を十分に確保できるよう配慮している（資料 E-1）。

大学全体レベル及び大学院全体レベルでは、学生・院生の受け入れに関する基本的理念と、大別された入学試験種別ごとに、それぞれの入学試験の特性に沿った、入学者選抜の方針を各種「入学試験要項」（資料 E-2～24）に記載し、東海大学オフィシャルサイトで公表している。

学位プログラム（学科）レベル及び研究科レベルでは、各学科・研究科が求める学生・大学院生像を示すとともに、入学者に求める「知識・技能・思考力・判断力・表現力・態度」に関して、学科・研究科の特性に沿った、入学前の学習歴や学力水準、能力等を示している。一例として、健康学部健康マネジメント学科では、入学者に求める思考力・判断力・表現力を、「文系の知識・技能と理系の知識・技能のどちらかに偏ることなく学ぶことによって、健康と社会について、柔軟に思考・判断し、自らの考えを発信できること」とし、東海大学オフィシャルサイトで明示している（資料 E-25）。また、入学希望者に求める知能・技能として、英語・国語・社会・数学・理科の各教科で求める水準についても東海大学オフィシャルサイトで明示しており、一般選抜、文系・理系学部統一選抜、大学入学共通テスト利用選抜では当該教科を試験科目としている（資料 E-12、25）。

出願資格は、各種「入学試験要項」（資料 E-2～24）において記載し、学力については各学部・研究科の期待する知識の内容及び水準と判定方法を明示している。また、東海大学オフィシャルサイト（資料 E-26）においても同様の掲載をしている。

#### 5.1.2. 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

評価の視点 1: アドミッション・ポリシー（学生の受け入れ方針）に基づく学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定しているか。

評価の視点 2：授業料についてその他の費用や経済的支援に関する情報提供を行っているか。【追加】

評価の視点 3：入試委員会等、責任の所在を明確にした入学者選抜実施体制を適切に整備しているか。

評価の視点 4：公正な入学者選抜を実施しているか。オンラインによる入学者選抜を行う場合における公正な実施をしているか。【追加】

評価の視点 5：入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施しているか。オンラインによって入学者選抜を行う場合における公平な受験機会の確保ができているか（受験者の通信状況の考慮等）

**※covid-19 への対応報告を追加 【必須】**

入試において、COVID-19 への対応・対策としてどのような措置を講じたかを記述。

本学では各学部・大学院より選出された委員で構成される入試企画委員会を組織し、入学試験全般に関して様々な視点から点検・評価を行うことで、その適切性が担保されていることを定期的に確認している。また、それらの点検・評価結果を分析し、入学試験に関する中・長期の戦略を審議している（資料 E-27）。

アドミッション・ポリシーに基づき学生を募集するため、学士課程では一般選抜、文系・理系学部統一選抜、大学入学共通テスト利用選抜、公募制学校推薦型選抜、指定学校推薦型選抜、総合型選抜、留学生選抜、付属学校推薦型選抜など様々な入試制度を設けている（資料 E-2～21）。また、大学院においても大学院生の受け入れ方針に基づき、一般入学試験、社会人特別入学試験、特別推薦入学試験を設けている（資料 E-22～24）。一例として、教養学部芸術学科では、アドミッション・ポリシーに基づき「芸術に関する基礎的な知識や実践能力」を判定するため、公募制学校推薦型選抜では面接時に自作作品を提示し（資料 E-8）、一般選抜では専門試験を実施している（資料 E-12）。

授業料について、高等教育の修学支援新制度に基づく支援はもとより、各種奨学金制度を整備して経済的支援を行っている。授業料及びその他の費用、奨学金制度については、入学試験要項に列記している。なお、2022年度より入学試験要項は東海大学オフィシャルサイトにて公開しており、入学者選抜方法や各種手続について明示すると共に、幅広く情報提供を行っている（資料 E-2～24）。

学士課程及び大学院における各入試では、個別学力試験、面接審査、小論文審査、調査書等を用いて、アドミッション・ポリシーの理解及び基礎学力を判定し、選抜している。また、入試業務運営全般の統括責任組織として学長を本部長とする入試運営本部を設置し、そのもとに入試業務実施組織として、入試担当のユニバーシティビューローゼネラルマネージャーを本部長とする入試実施本部を置き、円滑な入学者選抜を実施できる体制を構築している。さらに、全ての入学者選抜に関して、学長を委員長、副学長、学部長等を委員とする入試判定委員会を開催し、入学者選抜に関わる公正な合否判定を行っている。入試制度の策定から試験実施における検討事項や改善要求については、各学部・大学院より選出された委員で構成される入試企画委員会を組織し、学部入試及び大学院入試について検討を行っている。この委員会で決定した事項は上位組織の学部長会議・大学院運営委員会での承認を経て、学長・理事長の承認を得ている。入学試験の実施、判定、制度改正に関与する組織及び業務分掌については規定として整備し、その権限や役割が確実に履行されること遵守している（資料 E-28）。

オンラインにおける入学者選抜を実施する際には、受験生以外の同席は認めず、必要に応じて

Webカメラを360度廻して室内環境を確認するなど、不正防止に取り組んでいる。また、通信環境の不具合に備えて、受験生には予備の通信機器を用意することを入学試験要項に明記している。不測の事態により入学試験を実施することが困難な場合は、試験時間の繰り下げや試験の延期等の対応措置を講じ、受験生が不利益を被ることがないように、取り組んでいる（資料 E-17）。

学生募集方法、入学者選抜方法の周知については、各種「入学試験要項」（資料 E-2～24）、東海大学オフィシャルサイト（資料 E-26）、「東海大学 入試情報」（資料 E-1）での周知に加え、本学主催の高校教員向け説明会、高等学校での説明会、業者主催の進学相談会、オープンキャンパスでの個別相談等で情報提供に努めている。留学生に対しては、東海大学オフィシャルサイトにおいて、英語表記での情報提供を行っており（資料 E-26）、また例年は「留学フェア」への参加や、日本語学校への広報を行い、これらの周知を図っている。

合理的な配慮を必要とする入学希望者に対しては、「東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて」の基本方針に従って、適切に対応している（資料 E-29）。具体的には、受験及び修学上、合理的配慮を必要とする場合は、各種「入学試験要項」（資料 E-2～24）にて、出願前に申し出るように注意喚起を行っている。申し出のあった受験生については、文書にて本学の特別配慮内容を回答し、特別配慮内容を了承のうえ出願していただいている。

#### ※COVID-19 への対応報告

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部の入学試験について当初の予定から入試内容、日程等を変更して実施した。なお、各入学試験要項等に記載している内容を変更する場合は、随時、変更内容を東海大学オフィシャルサイトに掲載し、受験生へ周知した（資料 E-30）。昨年度に引き続き、留学生選抜の一部において、「オンライン」を活用した入試を企画・実施した。また、国の水際対策により出入国が制限されて受験できない場合や、発熱または新型コロナウイルス感染症に罹患した等の理由により受験できない場合に、「オンライン」を活用した試験の実施や、別日程での受験や特別措置による別入試への振り替えまたは追試験への出願を可能とした。

なお、従前どおり受験生が試験場に来場する形式の入試については、各試験場における感染症対策として、政府のガイドラインに基づいた本学の方針を策定し、事前に受験生に周知すると共に十分な対策を講じた上で実施した。

大学院入試、学部入試の主な対応は以下のとおりである。

#### A. 総合型選抜（学科課題型）の課題内容の変更

例年は課題内容として実地調査や聞き取り調査等を伴う課題を設定している場合があったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問や対話を伴うような課題について内容を変更し、文献等の調査や個人で行う実験・実習・観察、過去の体験談をまとめるレポート作成等の課題とする等、受験生が安心して課題に取り組めるように配慮した。

#### B. オンラインを活用した実施

留学生一般選抜（春学期一期・二期）、文系・理系学部統一選抜（後期）追試験については、Web面接システム（インタビューメーカー）を活用した試験を実施した。

#### C. コロナ禍での学力選抜実施における変更点及び受験生への配慮

発熱または新型コロナウイルス感染症に罹患した等の理由により受験できない場合は、別入試への振り替えまたは追試験を実施した。

#### D. 各試験場に来場する入試種別における新型コロナウイルス感染症対策

- a) 政府のガイドラインに基づいた本学の入試実施における方針を策定。
- b) 受験者へのお願ひ事項及び注意喚起の周知

事前：東海大学オフィシャルサイト、Web出願ガイダンスサイト

試験当日：各試験場・各試験室内での掲示（資料 E-31）

5.1.3. 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。

評価の視点 1：入学定員及び収容定員、在籍学生数において、以下の項目を適正に管理、運営しているか。

<学士課程>

1. 入学定員に対する入学者数比率
2. 編入学定員に対する編入学生数比率
3. 収容定員に対する在籍学生数比率
4. 収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応

<修士課程、博士課程>

収容定員に対する在籍学生数比率

2022年度大学基礎データ表2 学生（資料 E-32）にあるとおり、ここ5年間の各学部の入学定員に対する平均比率は募集停止の学科を除き 0.83 から 1.21 となっている。大学基準協会が定める、定員管理における改善課題及び是正勧告の基準に従えば、海洋学部海洋理工学科海洋理工学専攻、農学部食生命科学科において是正勧告の指摘を受ける状況にある。

編入学試験については、2021年度は医学部医学科を除き各学科とも概ね 0～7名程度となっている。入学定員を若干名として募集を行っていることもあり、質を確保する観点から人数の多少については容受しており、問題なく管理されている。

大学院については、研究科によって充足状況に差異が生じている。これは、学部と異なり研究のトレンドや、社会情勢、経済状況などによって出願状況が変動するためであり、質を確保する観点から容認している。

学部における入学者数の定員超過及び定員充足については、各入学試験における合否判定を厳正に行い、入学手続者数の予測精度を上げることで防いでいる。また、定員未充足の学科を減らすために補欠合格者を出すことで欠員の回避を行っている。大学院については、入学定員の未充足や超過が発生しているが、著しい定員超過とならないよう厳正な合否判定を行っている。

一方、2022年度の収容定員に対する各学部の収容定員充足率は、学部によって差があるものの、募集停止の学科を除き 0.83 から 1.21 の範囲に収まっており（資料 E-32）、一部に充足率が低い学部があるものの全体として適切に管理されている。

大学院においては、研究科間にかんがりの差が見られるが、上述したように、入学定員の未充足や超過に対する対応策をとることにより、序々に適正化が進むよう努める。

5.1.4. 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

評価の視点 1：学生の受け入れについて、適切な根拠（資料、情報）に基づき定期的に点検・評価を行っているか。

評価の視点 2：自己点検・評価結果に基づいた改善・向上が行われているか。

学生の受け入れの適切性については、入試結果・各学部における教育状況・大学入試環境の状況などを勘案し、入試企画委員会において点検・評価を行っている（資料 E-27）。

入試制度の検討改革は、入試企画委員会での検討・改革案策定に基づき、学部長会議・大学院運営委員会での検討・承認を経て決定されている。また、各種入試における募集人数につ

いては、過去の志願状況を踏まえ、入試担当のユニバーシティビューローゼネラルマネージャーを中心に検討し、原案を各学部へ提案し、学部で検討後、学部長会議にて承認されている（資料 E-27）。

なお、入試担当のユニバーシティビューローゼネラルマネージャーは、本学の内部質保証を推進する組織の一つである「自己点検・評価」委員を委嘱されており、学生の受け入れに関する自己点検・評価を推進している。是正が必要な事項があった場合には、学長及び大学評価の全学組織である「大学評価審議会（資料 B-2）」からの指摘に基づき、適切な状態になるよう改善に取り組んでいる。

## 5.2. 長所・特色

（大学全体）

特になし。

## 5.3. 問題点

（大学全体）

特になし。

### 【前年度記載の問題点の改善状況】（大学全体）

昨年度の問題点として、「学部の学力選抜系の実志願者数が減少している。次年度以降も安定した入学者を確保するためには、実志願者数を増やし、本学への入学意欲が高い志願者をさらに獲得するための取り組みが必要である。」を挙げていたが、この点に関して、より多くの実志願者を確保すべく、一般選抜の併願グループや試験科目を見直すことで志願者が受験しやすい環境を整え、より多くの志願者獲得を画策する一方で、各学科・専攻が必要とする学力の担保損なわないよう注意を払い、問題点を改善できるよう取り組んでいる。

## 5.4. 全体のまとめ

学生の受け入れ方針については、学士課程及び大学院において、大学・大学院全体レベル、学位プログラム（学科）・研究科レベルで策定されている。また、それぞれにおいて求める、学生・大学院生像を示すとともに、入学者に求める「知識・技能・思考力・判断力・表現力・態度」に関して、学科・研究科の特性に沿った、入学前の学習歴や学力水準、能力等を明示し公表している（資料 A-6）。

学生の受け入れ方針に基づく入学者選抜制度については、入試企画委員会及び、その上位組織である学部長会議・大学院運営委員会にて検討され、最終的に学長・理事長の承認を得ている。入試業務に関しては、学長を本部長とする入試運営本部のもと、入試実施本部によって組織的に実施されている。さらに、全ての入学者選抜に関して、学長を委員長、副学長、学部長等を委員とする入試判定委員会を開催し、入学者選抜に関わる公正な合否判定を行っている（資料 E-28）。

本学における定員管理については、学士課程において一部の学部・学科において収容定員及び入学定員の未充足が見られ、今後早急な改善検討が必要である。大学院においては、一部の研究科において、定員の未充足が常態化している状況が見られ、学士課程同様に早急な改善検討が必要である。

学生の受け入れの適切性については、入試志願者の人数や学力レベルなどの動向、入学後の学

修状況などのデータ分析に基づき、入試企画委員会にて検討し、改革改善を図っている。また、学生の受け入れに関しては、毎年度、自己点検・評価を実施しており、各学部・研究科へのフィードバックを実施している。

## 5.5. 根拠資料

- A-6 東海大学オフィシャルサイト（教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー）  
<https://www.u-tokai.ac.jp/about/philosophy-history/policy/>
- A-7 東海大学オフィシャルサイト（教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー（大学院））  
<https://www.u-tokai.ac.jp/about/philosophy-history/graduate-policy/>
- B-2 大学評価審議会規程
- E-1 東海大学 入試情報 2023
- E-2 2023 年度東海大学入学試験要項 総合型選抜 学科課題型
- E-3 2023 年度東海大学入学試験要項 総合型選抜 指定クラブ型
- E-4 2023 年度東海大学入学試験要項 総合型選抜 スポーツ・音楽自己推薦型
- E-5 2023 年度東海大学入学試験要項 総合型選抜 同窓会型
- E-6 2023 年度東海大学入学試験要項 総合型選抜 適性面接型
- E-7 2023 年度東海大学入学試験要項 総合型選抜 医学部医学科（希望の星育成）
- E-8 2023 年度東海大学入学試験要項 公募制学校推薦型選抜
- E-9 2023 年度東海大学入学試験要項 指定学校推薦型選抜
- E-10 2023 年度東海大学入学試験要項 企業推薦型選抜
- E-11 2023 年度東海大学入学試験要項 付属学校推薦型選抜
- E-12 2023 年度東海大学入学試験要項 文系・理系学部統一選抜（前期・後期）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期・後期）
- E-13 2023 年度東海大学入学試験要項 医学部医学科一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、医学部神奈川県地域枠選抜、医学部静岡県地域枠選抜
- E-14 2023 年度東海大学入学試験要項 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻選抜（大学入学共通テスト利用型）
- E-15 2023 年度東海大学入学試験要項 医学部医学科特別選抜（展学のすすめ）
- E-16 2023 年度東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別選抜
- E-17 2023 年度東海大学入学試験要項 留学生一般選抜（一期・二期）
- E-18 2022 年度東海大学入学試験要項 留学生推薦選抜（春学期・秋学期）
- E-19 2023 年度東海大学入学試験要項 一般編入学選抜
- E-20 2023 年度東海大学入学試験要項 学園内推薦編入学選抜（秋学期・春学期）
- E-21 2023 年度東海大学入学試験要項 海洋学部乗船実習課程選抜
- E-22 2022 年度・2023 年度東海大学大学院入学試験要項 大学院一般入学試験（第1期・第2期）、社会人特別入学試験（秋学期・春学期）
- E-23 2022 年度・2023 年度東海大学大学院入学試験要項 推薦入学試験（秋学期・春学期）
- E-24 2022 年度・2023 年度東海大学大学院入学試験要項 大学院国際方式入学試験（秋学期・春学期）
- E-25 東海大学オフィシャルサイト（教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー 健康マネジメント学科）
- E-26 東海大学オフィシャルサイト 入試情報  
<https://www.u-tokai.ac.jp/examination-admissions/exam/>
- E-27 2022 年度 第1回Policy・Working・Meeting 入試企画委員会（学部部会）次第
- E-28 東海大学入学試験運用組織及び業務分掌規程
- E-29 東海大学オフィシャルサイト 東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて  
<https://www.u-tokai.ac.jp/about/support/>
- E-30 東海大学オフィシャルサイト 「2023年度東海大学入学者選抜における新型コロナウイルス感染症対策・対応について（一部改訂）」  
<https://www.u-tokai.ac.jp/news-admissions/196797/>
- E-31 掲示：コロナ対策 2023 年度試験場掲示（検温実施）
- E-32 2022 年度大学基礎データ 表2 学生